

番 号	25	県 別	島根	実施団体等	NPO法人 緑と水の連絡会議	代表者	高橋泰子
事業名	石見銀山ウォーキングミュージアム竹林整備と竹の杖づくり			事業場所	大田市大森町（世界遺産石見銀山）		
事業目的	石見銀山は環境との共生が評価され 2007 年に世界遺産に登録されたが、現場では遺跡の保全のために拡大する竹林との格闘が続いています。また、石見銀山では、地元住民の平穏な暮らしと遺跡を両立させるため、パークアンドライドを実施し、さらに中心部では自家用車乗り入れ規制をして歩く観光を推進しています。銀山を訪れる多様な皆様へのホスピタリティとして、竹林整備で生じた竹を加工して杖を無償提供する事業を実施する。						
事業概要	石見銀山世界遺産センター、大森まちづくりセンター、日本国際ワークキャンプセンターと共催して、25年8月～26年2月にかけて、合計4回の竹杖づくりワークショップを開催した。また、2回の国際ワークキャンプではそれぞれ4日程度かけて竹林整備から杖づくりまでを一貫して実施した。						
事業効果	竹の杖の意義を一般の観光客に示す、ポスターや杖立への情報表示を行うことができた。単なる貸し杖でなく、遺跡保全の竹林景観整備につながっていることをPRでき、世界遺産を守る町としての主張ができた。平成26年新春の豪雪で、石見銀山地区では多くの倒木・倒竹が生じたが、この被害竹を産業廃棄物処理するだけでなく、利活用するという点でも一役かった。						
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						